

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、  
未来をたくましく生き抜く生徒の育成



須木中木守柿

そうではなく、今やるべきことをしっかりとやり続ける。その積み重ねが結果的に期待に応えることになるのです。

過剰に意識することがあります。人は時々、期待されるとそれに応えようとして、

つまり、大人はこれからこの須木地区を、小林市を、そして日本を支えていくであろう君たちに大きな期待をもち、まちがいなく未来への希望を託しているのです。

先日、合唱大会での合唱はみごとでした。決して多くない人数ですが、どの学校にも引けをとらないハーモニーを会場に響かせてくれました。大会に向けて、木村先生の熱心なご指導と時間を惜しんで練習をした結果です。

さて、合唱もそうですが、日々の学習、いろいろな行事や部活動などで、先生方や保護者の皆さん、地域の皆さんが君たちに一生懸命指導や応援を下しています。すべては君たちがこれから社会に出て生きていくための、いろいろな力を付けるためです。

自然に残った2個の実を見ていたら、拙作ですが、冒頭の句が浮かびました。柿農家さんは、次の年の豊作を願って、柿の実を1〜2個残すゆかしい風習があるそうです。これを「木守柿」と言います。

### 未来への希望を託す 木守柿

自転車置き場の裏に一本の柿の木があります。葉も実もすっかり落ちたと感じていたら、柿の実が2個残っているのに気がつきました。

### 《第2回ふれあい給食》

11月6日に第2回目の「ふれあい給食」を実施しました。今回は10名の方をお迎えすることができました。最初は子どもたちとの会話も少なかったのですが、数分もしたらそれぞれの給食班でいろいろな話が出るようになりました。

校長室にもお寄りいただいたのですが、以前の卒業アルバムを見ながら話が弾み、皆さん70歳を超える方々ばかりだったのですが、昔の須木中の様子や卒業生の話など次から次に飛び出し、とても楽しい時間を過ごすことができました。おいでになった方々からも口々に、「楽しかった」と言っていたいただき良かったなあと思いました。話に夢中になり、写真を撮ることをすっかり忘れておりました。お詫び致します。今年度はあと1回実施する予定です。

### 《西諸地区小中学校音楽大会》

冒頭にも少し触れましたが、11月20日に小林市の文化会館で、第68回西諸地区小中学校音楽大会がありました。本校は3年生がアカペラで「いざたて戦人よ」を歌い、続けて全校生徒で「この星に生まれて」を歌いました。講評に書かれた感想を二つ紹介します。



少人数でこのホールに響く歌声を堂々と披露できることがすばらしいし、毎年そのクオリティが高まっているのもすばらしい。これだけしっかりとした音程は日頃の授業で基礎をしっかりと身に付け、質の高い楽しさを味わっているからだと思います。伸びのある歌声と女性が少ないのに男性とのバランスのとれた美しいハーモニーであることもすばらしいと思いました。

まず、皆さんの穏やかな表情がよかった。豊かな声量でアカペラを歌う、ステージの11人に、会場の皆さんの視線が釘付けでした。各パートのバランスが美しいハーモニーとなっていました。全員になり、なめらかなピアノ伴奏が加わり、心地よい合唱を聴かせてくれました。口の形をしっかりと変えて、歌詞を正確に届けてくれました。

来年度も多くの人に感動を与えよう！！